

令和 2 事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団事業計画

平成 4 年に設立され、平成 25 年度から公益財団法人に移行した当財団は、「ふるさと振興を使命とする財団」として、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」に取り組んでいる。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、地域課題の解決や特色を生かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティ推進組織の重要性が高まっている。

財団には、地域の自主的・主体的な活動であるコミュニティ活動の中核的な支援組織として大きな役割を果たしていくことが求められており、周南市コミュニティ推進連絡協議会や各地区コミュニティ推進組織への支援に引き続き取り組んでいく。

市民活動（テーマ型）に対する支援では、平成 30 事業年度から周南市市民活動支援センターの運営を周南市から受託し、市民活動に関する情報収集・発信、市民活動講座の開催等を行っており、令和 2 事業年度は新たな市民活動を創出するための支援体制の検討に専門家を交えて取り組み、相談への対応など、自発的な市民活動に対する支援力の強化に努める。

また、指定管理者として管理運営を行う「周南市大田原自然の家」を活用した地域コミュニティの振興等にも引き続き取り組んでいく。

令和 2 事業年度は、財団の今後 5 ヶ年（令和 3～7 事業年度）の方向性を定める「ふるさとづくり推進プランⅣ」及び「第 4 次経営改善計画」の策定年度にあたる。地域づくりを取り巻く環境を踏まえ、財団に求められる役割をしっかりと把握しながら、次の 5 年間につなげていく年としたい。

I 市民が輝くふるさとづくり

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指す。

1 コミュニティ（地縁型）

① コミュニティ情報の提供

予算 116,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P6

◎ 各地区コミュニティ情報の収集

提供者：各地区情報提供者・市民センター 等
各地区を回り、情報収集を実施

◎ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページの運営

アドレス <http://shunan-chiikijoho.jp/council/>

◎ 周南市コミュニティ推進連絡協議会広報誌の発行（年4回）

◎ 各種メディアによるコミュニティ活動PR等への協力

◎ フェイスブックによるリアルタイムな情報収集・提供

※写真上：周南市コミュニティ推進連絡協議会広報誌
「わたしたちのコミュニティ」

写真下：周南市役所1階ロビー設置の広報誌スタンド



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信〕

② 特色あるコミュニティ活動への支援

予算 801,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 特色あるコミュニティ活動助成金

特色あるコミュニティ活動助成金

助成額上限：1事業 10万円 助成総額：50万円

活動費助成金

助成額上限：1事業 5万円 助成総額：25万円

※写真：令和元年度助成事業「三丘子どもまちづくり塾」周防大島町視察
（“ほっと三丘”コミュニティ協議会）



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成〕

③ コミュニティ推進組織・活動へのコーディネート

予算 650,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

- ◎ 各地区コミュニティ推進組織の現状把握
各地区の総会資料収集（4月～7月）
各地区の総会視察（4月～7月）
- ◎ 各地区コミュニティ推進組織の分析（随時）
- ◎ 各地区コミュニティ推進組織からの相談対応（随時）
- ◎ 各地区の活動への支援・発展に向けた提案（随時）
- ◎ 各地区市民センターの新主事へのヒアリング調査（5月）
- ◎ 組織間（地区間）ネットワークの形成支援
- ◎ 地区行事の開催支援
新春寄席開催（1月）
- ◎ 特色ある活動へのアドバイス・人的支援

※写真上：周陽地区コミュニティ推進協議会 総会
写真下：秋月地区コミュニティ推進協議会 「秋月音頭」練習



〔公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

④ 若者参画の推進

予算 72,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

- ◎ 若者の地域参画推進プラン
若者による団体間のネットワーク形成に向けた取組
若者参画に関する先進地視察研修
若者による地域活性化グループの立ち上げ支援
周南市コミュニティ推進連絡協議会への事業参加促進
各地区コミュニティ推進組織と若者による各団体の連携促進
各地区コミュニティ推進組織と多様な主体の連携促進

〔公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

⑤ ふるさと応援隊の支援・推進

予算

91,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 活動支援

活動案内・活動支援・活動ごとに報告書作成

主な活動

総会（5月）・月1回の定例会

コミュニティ活動の応援（須金なしぶどう祭り 等）

※写真：「須金なしぶどう祭」応援



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業〕

⑥ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営

予算

112,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P7

◎ 事業支援

事業案内・企画支援・運営支援・報告書作成 等

事業予定

正副会長会議（随時）・役員会（5月）・総会（6月）

交流集会（11月）・三団体視察研修（11月）

事務局担当者研修（12月）・三団体交流会（12月）

若者参画事業（2月）

イベント器材の整備・貸出・修繕 等

※写真：須々万地区で開催した「コミュニティ交流集会」現地視察



〔公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援〕

2 市民活動（テーマ型）

① 市民活動情報の提供

予算

34,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ 市民活動情報の収集・提供

情報提供者：市民活動団体、各地の支援センター 等

財団ホームページ、財団事務所での配布等の方法により提供

※写真：財団事務所（周南市役所港町庁舎）での情報提供



〔公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信〕

② 特色ある市民活動への支援

予算 552,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ しゅうなん元気活動支援事業助成金

助成額上限：1事業10万円 助成総額：50万円

令和2年度選定事業への助成（令和2年3月決定）

令和3年度助成事業の選定（令和3年1月～3月）

※写真：令和元年度助成事業「青空市場・朝市（軽トラ市）」
（徳山小学校区コミュニティ推進協議会）」



〔公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ア. 特色ある市民活動への助成〕

③ 市民活動団体への支援

予算 11,145,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P8

◎ 市民活動に関する情報収集及び発信

情報誌発行、ホームページ作成及び更新、団体・人材・ボランティア情報の登録及び更新、助成金情報の収集及び発信、先進事例の調査・研究

◎ 団体交流及び育成支援

市民活動講座（連携及び交流支援、スキルアップ、きっかけづくり等）の開催

◎ 市民活動相談及び施設利用支援

市民活動団体の設立・運営、助成金申請等に関する相談対応
市民活動支援センターの施設・設備の受付及び使用案内

◎ 新たな市民活動の創出体制の構築

新たな市民活動を創出するための支援体制について専門家や有識者を交えた検討及び構築

◎ NPO 法人等の市民活動団体支援業務

市民活動団体へのヒアリング、専門家を交えた支援、団体の掘り起こし、団体間の連携促進

◎ 徳山駅前図書館「周南きさらぎ文化祭」と連携した事業の開催

市民活動フェスタ、市民活動団体の活動発表の場づくり

◎ 周南市市民活動支援センターホームページ

<http://shunan-chiiki.joho.jp/support/>

※写真上：市民活動講座「成果も人も大切に新しい組織づくりを学ぶ講座」

写真中：市民活動常設展（「周南きさらぎ文化祭」連携事業）

写真下：市民活動フェスタ（「周南きさらぎ文化祭」連携事業）



〔公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催
ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信〕

II ものからひとへのふるさとづくり

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしのために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村の人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進する。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へとつながるふるさとづくりを目指す。

① 地場産品情報の提供

予算

30,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 地場産品に関する情報、料理方法の紹介

ホームページ等による情報提供

[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援]

② 地場産品生産者への支援

予算

44,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 地場産品を活用した体験講習会の開催

地域食体験教室 等

[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援]

③ 地場産品を活用した連携支援

予算

11,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 市民活動団体等との連携

中心市街地や周辺部、学校などとの連携支援

徳山あちこちマルシェ等と連携した地場産品・地域食の情報発信

[公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援]

III 明日へつなげるふるさとづくり

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤としたふるさとづくり情報を発信する。また、次世代のふるさとづくりを担う子どもたちや青少年を育成するためのふるさとづくり拠点施設を管理・運営する。

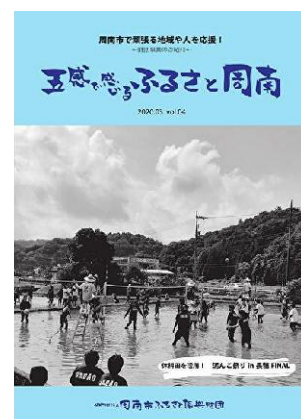
① ふるさとづくり情報の提供

予算 421,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

- ◎ 財団ホームページの運営
アドレス <http://gokan-furusato.org>
- ◎ フェイスブックによるリアルタイムな情報収集・提供
- ◎ 機関紙「五感で感じるふるさと周南」の発行
- ◎ 周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出
- ◎ 「ふるさと周南を感じる会」の開催

※写真：機関紙「五感で感じるふるさと周南」vol.4



〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア.ふるさとづくりに関する情報の提供〕

② ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

予算 36,612,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」 P9

◎ 周南市大田原自然の家

財団が指定管理を受けている大田原自然の家をふるさとづくり拠点として活用し、これからのふるさとを担う子どもたちや青少年に、自ら学ぶ意欲、人間関係を築く上で大切な豊かな心などの「生きる力」を育むことを目指す。

- ・ 体験プログラムの提供
自然・食・人とふれあいながら学ぶ40種類の体験プログラムを提供する。
- ・ 子ども・家族対象の体験事業
自然・食・人とふれあえる36事業を企画し、将来のふるさとづくりを担う豊かな心を持つたくましい子どもの育成と子育て家族の支援を行う。



①



②

- ・ 食農・食育体験農園の管理

中高生ボランティアによる「シャトルファーム」事業で収穫体験ができるちびっこ農園の管理を行う。

- ・ ボランティアと指導者の育成・連携

体験活動をさらに効果的なものにするため、活動に関わる中学生から高齢者までの幅広いボランティアの育成・連携を図る。

日本キャンプ協会課程認定団体として認定を受け、キャンプ指導者の育成と充実を図る。

- ・ 地域との連携

自然の家と地域コミュニティ、ボランティア、利用者が連携し地域の活性化を図る。

- ・ 自然の家の情報の提供

フェイスブック、ホームページ、市広報、チラシや機関紙等、様々な媒体で情報の発信に取り組む。

アドレス <http://gokan-furusato.org/ootabara/>

※写真①：周南市大田原自然の家

写真②：Familyでたなばた（山口県立大学 Family）

写真③：夏のわんぱく村（山口大学 トムソーヤー（ズ））

写真④：色いろ！味あぢ！秋の子ども村（山口学芸大学 子どもの木）

写真⑤：キャンプ指導者研修会（日本キャンプ協会過程認定研修）



③



④



⑤

〔公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営〕